

京都鳥取県友会 会報

◆2025 年度春季総会・懇親会

6月1日(日)、京都グランヴィアホテルで京都鳥取県友会の2025年度春季総会・懇親会を開催しました。会合には鳥取県関西本部・森本誠人本部長、谷川真理子係長、鳥取県岩美町・長戸清町長をご来賓としてお迎えし、総勢21人が集いました。

総会では、はじめに佐伯会長より開会のごあいさつがあり、続いて鳥取県関西本部・森本本部長と岩美町・長戸町長が祝辞を述べられました。



佐伯会長

森本本部長

長戸町長

総会の議題は、2023年度年間行事・活動報告、2024年度会計報告・会計監査、2025年度行事予定で、いずれも原案どおり承認されました。

2024年度収支決算書と2025年度年間行事予定は次のとおりです。

2024年度(令和6年度)収支決算書

自2024年4月1日、至2025年3月31日

収入の部	(円)	支出の部	(円)
前年度繰越	114,575	京都ふるさと連・年会費	40,000
年会費	125,000	春季総会・懇親会	245,916
春季総会・懇親会費	250,000	鳥取県ファンの集い(中止)	7,000
秋季懇親会費	197,700	鳥取藩招魂社祭	12,786
女子駅伝屋台村売上	163,440	秋季懇親会	176,995
京都ふるさと連からの補助金	53,000	京都ふるさと連・創立40年寄付	4,950
預金利息	6	高校駅伝差し入れ(男女)	40,000
		全国女子駅伝差し入れ	50,000
		女子駅伝屋台村経費	168,219
		事務経費	29,157
		金融機関手数料	8,903
		次年度繰越	119,795
計	903,721	計	903,721

2025年度年間行事予定	
2025年5月14日(水)	京都ふるさと集い連合会 定時総会・懇親会 京都ブライTONホテル
2025年6月1日(日)	京都鳥取県友会総会 開催 ホテルグランヴィア京都 11時30分より
2025年8月30日(土)	鳥取県ファンの集いin関西 ニューオーサカホテル 3階「淀の間」 12時より
2025年10月14日(火)	鳥取藩招魂社祭 京都霊山護国神社 11時45分より 祭礼終了後 京都鳥取県友会 秋季懇親会 花咲 高台寺店「京料理 萬治郎」 13時15分より
2025年12月3日(水)	京都ふるさと集い連合会 懇親忘年会 ホテルオークラ京都
2025年12月21日(日)	全国高校駅伝 鳥取県選手の激励・応援 たけびしスタジアム京都
2026年1月11日(日)	全国女子駅伝 激励・応援 たけびしスタジアム京都 ふるさと屋台村の開催は未定
2026年3月中旬頃	京都ふるさと集い連合会・中国ブロック懇親会 2025、2026年度は鳥取県友会が幹事を務める

出席者全員で記念写真の撮影を済ませた後、今回が初参加となる森田直樹さんをご紹介しました。そして、みなさん、お待ちかねの懇親会が麻生純さんによる乾杯のご発声を合図に始まりました。



戸塚会計幹事



森田さん



麻生さん



谷川係長

懇親の場が和む中、谷川係長による「ふるさと便り」では8月30日に大阪で開催される「鳥取県ファンの集い」のPRがなされ、そして、出席者が順番にそれぞれの近況を報告しました。



岡垣さん



浜本さん



北村さん

楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後は全員で「かいがら節」を大合唱し、田辺さんの中締めのごあいさつでお開きとなりました。



◆鳥取藩招魂社祭・秋季懇親会

2024年10月14日(月)、鳥取藩招魂社祭と秋季懇親会を開催しました。

鳥取藩招魂社祭では、京都霊山護国神社の木村隆比古宮司による祭詞奏上、参拝者による玉串奉奠と続き、明治を目前に斃れた鳥取藩士87柱の御霊を慰めました。





その後、東山高台寺・萬治郎へ場所を移しての懇親会では和気藹々と楽しいひと時を過ごすことができました。会合には鳥取県関西本部・森本誠人本部長、谷川真理子係長、鳥取県岩美町・長戸清町長をご来賓としてお迎えし、19人が集いました。



佐伯会長のごあいさつ



森本本部長のごあいさつ



長戸町長のごあいさつ



招魂社祭に初参加の錦織さん



加藤副会長による開会の辞



麻生さんによる乾杯のご発声



光井さんによる NHK 便り



多賀さんによる中締めのごあいさつ

当日は、10月1日に首班指名された石破茂・自民党総裁の話題で持ちきりでした。

前年の秋季懇親会に、石破代議士(当時)は前原代議士と共に初めてご出席されましたが、1年後に内閣総理大臣に選出されるとは誰も夢にも思いませんでした。

鳥取県が生んだ初の総理大臣として日本国をリードし、善政を敷いていただきたいと思います。

鳥取出身で初

1988年・東京府葛飾区出身。自民党から立候補し、7月補選で鳥取県議会議員に選出。1992年・鳥取県議会議員に選出。1994年・鳥取県議会議員に選出。1997年・鳥取県議会議員に選出。1999年・鳥取県議会議員に選出。2000年・鳥取県議会議員に選出。2003年・鳥取県議会議員に選出。2006年・鳥取県議会議員に選出。2009年・鳥取県議会議員に選出。2012年・鳥取県議会議員に選出。2015年・鳥取県議会議員に選出。2018年・鳥取県議会議員に選出。2021年・鳥取県議会議員に選出。2024年・鳥取県議会議員に選出。

日本海新聞

特別号外

日本海新聞購読お申し込みは

0120-110111

0120-110112

0120-110113

0120-110114

0120-110115

赤沢氏が初入閣

衆院鳥取2区 経済再生相に起用

赤沢亮正氏の主な経歴

1983年	鳥取県立鳥取高等学校卒業
1985年	鳥取大学法学部卒業
1986年	鳥取県庁入庁
1987年	鳥取県庁入庁
1988年	鳥取県庁入庁
1989年	鳥取県庁入庁
1990年	鳥取県庁入庁
1991年	鳥取県庁入庁
1992年	鳥取県庁入庁
1993年	鳥取県庁入庁
1994年	鳥取県庁入庁
1995年	鳥取県庁入庁
1996年	鳥取県庁入庁
1997年	鳥取県庁入庁
1998年	鳥取県庁入庁
1999年	鳥取県庁入庁
2000年	鳥取県庁入庁
2001年	鳥取県庁入庁
2002年	鳥取県庁入庁
2003年	鳥取県庁入庁
2004年	鳥取県庁入庁
2005年	鳥取県庁入庁
2006年	鳥取県庁入庁
2007年	鳥取県庁入庁
2008年	鳥取県庁入庁
2009年	鳥取県庁入庁
2010年	鳥取県庁入庁
2011年	鳥取県庁入庁
2012年	鳥取県庁入庁
2013年	鳥取県庁入庁
2014年	鳥取県庁入庁
2015年	鳥取県庁入庁
2016年	鳥取県庁入庁
2017年	鳥取県庁入庁
2018年	鳥取県庁入庁
2019年	鳥取県庁入庁
2020年	鳥取県庁入庁
2021年	鳥取県庁入庁
2022年	鳥取県庁入庁
2023年	鳥取県庁入庁
2024年	鳥取県庁入庁

◆ 京都ふるさとの集い連合会で「しゃんしゃん傘踊り」を披露

2024年12月5日(木)、ホテルオークラ京都で京都ふるさとの集い連合会の創立40年祝賀会兼懇親忘年会が開催されました。

当日は、西脇隆俊京都府知事、松井孝治京都市長、各道府県事務所のご担当などのご来賓、北海道から沖縄までの各県人(友)会員を合わせて約230人もの人たちが一堂に会しました。

祝賀会の冒頭、開催を祝して京都鳥取県友会は「鳥取しゃんしゃん傘踊り」を披露しました。例年の

懇親忘年会では、各ブロックが持ち回りで出し物を披露しますが、今回は中国ブロックの鳥取県友会がアトラクションとして実施したものです。出席者は「きなんせ節」と傘の鈴が発する「しゃんしゃん」という音色に合わせて手拍子を取るなど、しゃんしゃん傘踊りは会場の祝賀ムードを一気に高めました。



しゃんしゃん傘踊りを披露する我が鳥取県チーム



西脇知事、松井市長も飛び入り参加



前原副会長、石倉・滋賀県人会長、西脇知事、
佐伯会長、松井市長、雑賀・京都新聞 COM 社長(当時)



傘踊りの口上を述べる堀尾幹事長

しゃんしゃん傘踊りを披露するにあたって、京都鳥取県友会には踊れる人がおらず、まず踊り手さんを集めることと踊りの指導を受けることから始めました。踊り手は県友会の横川ひとみさん、本多由紀子さん、本多さんのご友人の赤賀美奈さん、岩上久子さん、八田たかこさんをお願いし、踊りの指導は谷川真理子・鳥取県関西本部係長より 2 回にわたって受けました。踊りの練習会場は佐伯会長の御会社の会議室などを利用させていただきました。

本番当日は、踊り手として森本誠人・鳥取県関西本部長、鳥取県庁より稲本充加子・観光戦略課課長補佐にも加わっていただき、総勢 8 人で傘踊りを披露しました。



練習風景「右、左・・・あれ、どっち？」



後列：本多さん、岩上さん、赤賀さん
前列：横川さん、八田さん、谷川さん、稲本さん

当日の様子は新聞でも報道され、鳥取県の面目躍如を大いに果たすことができました。

鳥取県庁、鳥取県関西本部の関係者のみなさまにおかれましては、傘踊りの振付指導に始まり、傘や法被の貸与、アトラクションへの出演など全面的なご支援をいただき、本当にありがとうございました。

京都ふるさとの集い連合会40年
郷土愛 礎に発展誓う



鳥取県出身者たちが傘踊りを披露し、盛り上がる会場(京都市中京区)

京都で活動する各都道府県の県人会でつくる「京都ふるさとの集い連合会」の創立40年祝賀会が5日、京都市中京区のホテルであり、関係者ら約230人が、郷土への思慕を礎に活動のさらなる発展を誓った。

ふるさと連は1998年5年に発足し、45の県人会が加盟する。鴨川納涼への出店や全国都道府県対抗女子駅伝での地元チームの応援、県人会同士の相互交流などを行っている。

祝賀会では、富山県出身の置田文夫会長があいさつで、能登半島地震など自然災害が多発した1年を振り返り、古里の支援に当たった各県人会の活動に敬意を表明した。「今後とも各県人会やふるさと連が盛り上がるよう努めてまいりたい」と力を込めた。

会場では鳥取県出身者たちによる傘踊りが披露され、音頭に合わせ出席者らが手拍子を送るなどして盛り上がった。(清原稔也)

京都新聞
2024年12月7日
朝刊21面

◆皇后盃全国都道府県対抗女子駅伝・ふるさと屋台村

2025年1月12日(日)、皇后盃第43回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会が「たけびスタジアム京都」を起終点とする駅伝コースで開催されました。鳥取県チームは出場47チーム中38位と前年よりも順位を1つ下げましたが、タイムを48秒短縮して2時間24分44秒と健闘しました。



青空にたなびく応援旗



2区で8人抜きをした真也加選手から3区にタスキが渡る

たけびしスタジアムが所在する西京極総合運動公園の一角に、京都ふるさとの集い連合会が屋台村を開設し、18 県人(友)会が出店しました。京都鳥取県友会は昨年引き続き“幻のエビ”モサエビ汁とおにぎり、地酒を販売する屋台を出店し、たくさんのお客様で賑わいました。出店にあたっては岩美町の長戸町長、奥様、商工観光課・畑先課長、池内課長補佐が当地にご出張くださり、モサエビの調理など多大なるご協力をいただきました。ありがとうございました！



大勢のお客様で賑わう屋台村



西脇知事も屋台村へ
前原副会長、佐伯会長、長戸町長、森本本部長と



走り終えた選手たちをモサエビ汁とおにぎりでおもてなし



来年もガンバロー！

ふるさと屋台村の様子は故郷・鳥取でも報道されました。

広域

モサエビ汁で 選手ねぎらい

全国女子駅伝で京都県友会
鳥取県出身者らでつくる
京都鳥取県友会（佐伯希彦
会長）は12日、京都市右京
区西京極新明町のたけびし
スタジアム京都を発着点と
する「第43回全国都道府県
対抗女子駅伝」の屋台村で、
死力を尽くした同郷選手に
モサエビ汁を振る舞った。
選手らは疲れた体を温め、
来年の健闘を誓った。

県友会による汁の振る舞
いや屋台村への参加は20
12年からで、コロナ禍を
除き毎年実施している。「幻
のエビ」と言われる岩美町

鳥取県選手代表から感謝の
言葉を受ける京都鳥取県友
会の佐伯会長（右から2人
目）



「幻のエビ」モサエビ汁
おにぎり 鳥取の地産

産のモサエビを丸々使い、
同町の職員らが協力して調
理。健闘した県選手や指導
者らをたたえ、モサエビが

1杯に数尾入った熱々の汁
を提供した。

コロナ禍以前は親ガニ
（ズワイガニの雌）のみそ
汁を作っていたが、漁期の
短縮で取れたての親ガニの
使用が難しくなったことか
ら、前回大会からモサエビ
汁を提供。今大会では30
0食の有料販売も実施し、
好評を博した。

佐伯会長は「3区の真也
加選手をはじめ、前半は上
位に食い込むなど全員が素
晴らしい走りを見せてくれ
た。これからも鳥取県を心
援していく」と話した。

（後藤昇一郎、椎葉直）

日本海新聞
2025年1月21日

◆加嶋 敬・前会長を悼む



京都鳥取県友会の前会長であった加嶋敬さんが2025年3月16日（日）ご逝去されましたので謹んでお知らせいたします。（享年86歳）

加嶋さんは鳥取県岩美町のご出身で、京都府立医科大学教授、京都市立病院院長、京都市立看護短期大学長等を歴任されました。

京都鳥取県友会には2002年（平成14）に入会され、会長を2003年から2017年まで務められました。その間、鳥取藩招魂社の由来板の設置を始めとして立派にその職責を全うされました。

ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

